



東京配電サービスの電気工事って？ ～みんなの暮らしを守るため～

Sさんの1日（出社から帰宅まで）

2010年入社 入社6年
所属班： 電気工事班（でんきこうじはん）



「私、マキサコがご説明します！」

電気工事班とは電柱の上にある電線や変圧器などを使い発電所で作られた電気を皆さまに送ったり、古くなった配電設備を交換したりする仕事です。

簡単に言いますと、停電が起きないようにする！です
そんな仕事をしているSさんを紹介いたしますっ！

東京配電サービス



で検索してください。



株式会社 東京配電サービス

① 出社

おはよう
ございます！



AM7:30

出社したら、まずは当日作業の準備をします。

② 車両の安全点検など

タイヤの溝よし！



AM7:40

車両・材料点検

③ 作業場所へ出発

今日は1日密着ですか？
恥ずかしいな・・・(笑)



AM7:50

安全運転で出発！

④ 到着！作業前に全員でミーティング



朝1回と昼食後作業再開前の1回は必ず
このように全員集まってミーティングを
行います。各自が安全や施工方法など
に対し共通認識を持つことにより事故を防止
します。

AM7:55

事故の防止

⑤ 本日作業の準備



素晴らしい！

Sさんは入社6年目、作業班の中ではまだ中堅。水を用意したり細かな材料の準備も仕事です、材料をしっかりと準備できるという事はその日の作業が全部頭に入っているからこそ！出来るのだと、班長さんが言っていました！



AM8:30

材料などの準備

作業責任者・施工管理責任者・職長
(入社9年目～)

作業副長・施工管理責任者
(入社9年目～)

電工1級
(入社6～8年目)

電工2級
(入社3～5年目)

新人・電工3級
(入社1～2年目)

⑥作業開始



元請（発注者さま）から借りている材料や工具もありますので取扱いにも細心の注意が必要です。

AM8 : 40

いよいよ始めるぞ！

⑦まずは仮のケーブルをセット

⑧感電しない為の特殊器具を使い作業

⑨作業終了



結線を間違えないように・・・

AM9 : 00



AM10 : 30

この特殊器具が開発されて感電事故が劇的に減ったんだ。

作業中



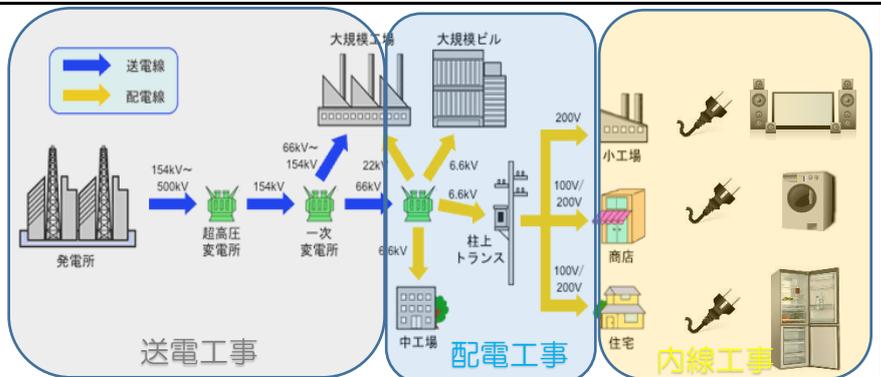
あざっす！（照）

お疲れ！よくできてるぞ！さあメシにするぞ！

AM11 : 30

question : 電気工事と配電線工事の違いは？

answer : 発電所で作られた電気が変電所や変圧器を通り皆さまのご家庭に流れるまでの工事です。



ココです



解説中

PM16:00

⑩今日の作業完了



電線も電柱も綺麗になりました(^^)♪

装柱完了

何気ない風景ですが、実は電線や電柱などすべてが新しく変えられています。発電所から皆様のご家庭へ、地味～ですが、社会にとって私たちの役割は重要だと思います！はい！



⑪各所確認作業

PM16:10



ちゃんと電気を送電できているか確認！

送電確認

⑫現場片づけ

PM16:20



工事で使う資材や機械はみんな高価なものばかりだから最後まで慎重に！

終了

⑬帰社後翌日準備

PM17:30



はい！

この材料の担当頼んだぞ！

え～とこれが10本・・・



明日の準備



よしっ！車に積むぞ。

PM18:00

⑭工事図面の修正と写真データの整理

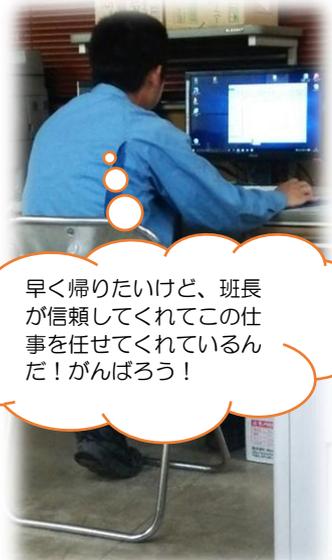


帰社後、予定工事内容と実工事の内容をチェックし変更箇所があれば図面に反映させ、発注者様に報告します。またその証拠としての現場写真もしっかりとPCに保管し工事代金請求の元になりますので大変重要な役目です。そんな重要な仕事を6年目で任せられているSさんはすごいです！



この作業をすることが、早く班長になるためには必要なんです！

当日作業の確認



早く帰りたいけど、班長が信頼してくれてこの仕事を任せてくれているんだ！がんばろう！

PM18:30

⑮退社



お疲れさまでした！マキサコさんも密着おつかれ！

マキサコのつぶやき

いや～大変なしごとです！ハッキリ言って・・・

だけど電気を使う人がいる限りは絶対に消滅しない仕事ですよ、今後電線の地中化が進んだとしても配電線は必ず存在します！



配電線電気工事の技術はどんな未来にも必要な技術です！故にSさんを始め、技術者のみなさんは日々技術の進歩について行くための勉強を怠りません。IT産業も確かに先端ですが実は人間でしかできないこの仕事も最先端なんではないでしょうか。



question：入社したきっかけは？

answer：現場見学をさせてもらいカッコいいと思いました。

question：仕事で一番大変なことは？

answer：ひとの生活に係わるので失敗できない緊張感

question：仕事をやっていて一番良かったと思うことは？

answer：高所作業車に乗り高いところに行ける事

question：将来の夢は？

answer：班長になって後輩に尊敬されるようになりたい

question：最後に、この仕事をやってみよう！と思っている後輩に一言！

answer：大変な仕事ですがしっかり教えますので安心して入社して！